

令和5年度 技術情報第1号
小麦 うどんこ病

令和5年4月12日
静岡県病害虫防除所長

コムギうどんこ病の多発が懸念されるため、防除の徹底をお願いします。

1 発生状況

4月5日に中遠地域の小麦ほ場を調査した結果、うどんこ病（図）の発病株率は52.6%（平年12.6%）、発生面積率は100%（平年34%）と平年よりも多かった。本県の奨励品種である「きぬあかり」は本病に弱く、3月の気温が平年より高く推移したことから、発生が多くなったと考えられる。

本病は暖冬で春先に雨が多いと多発する傾向がある。気象庁の1か月予報（4月8日～5月7日）によると、降水量は平年並みだが、気温は平年より高い見込みであることから、発生を助長すると予想される。

2 防除対策

- （1）本病は多発すると収量・品質が低下するため、発生を確認したら速やかに薬剤防除を実施する（表）。
- （2）下位葉から上位葉に向けて進展するため、株元まで薬剤が届くように散布する。
- （3）本病の第一次伝染源は前年の被害残渣で越冬した病原菌である。よって、前年多発したほ場では特に発生に注意する。
- （4）薬剤等の詳細については静岡県農薬安全使用指針・農作物病害虫防除基準（<https://www.s-boujo.jp>）を確認する。また、不明な点は病害虫防除所、農林事務所等指導機関に問い合わせる。

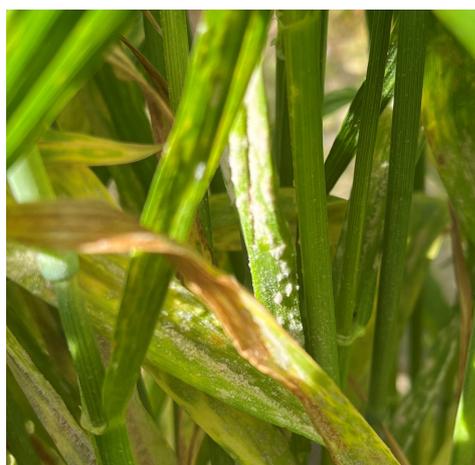


図 コムギうどんこ病の被害の様子

表 コムギうどんこ病に対する主な防除薬剤¹⁾

作物名称	商品名	使用方法	希釈倍数使用量	使用時期	使用回数	FRACコード ²⁾
麦類	イオウフロアブル ³⁾	散布	400倍	-	-	M2
麦類	石灰硫黄合剤 ³⁾	散布	40～140倍	-	-	
小麦	チルト乳剤25	散布	2000～3000倍	収穫3日前まで	3回以内	
麦類	ワークアップフロアブル	散布	2000倍	収穫7日前まで	3回以内	3
麦類	トリフミン水和剤	散布	1000～2000倍	収穫14日前まで	3回以内	
小麦	ストロビーフロアブル	散布	2000～3000倍	収穫14日前まで	3回以内	11
小麦	トップジンM水和剤	散布	1000～2000倍	収穫14日前まで	3回以内 (但し、出穂期以降は2回以内)	1

1) 静岡県農薬安全使用指針・農作物病害虫防除基準 (<https://www.s-boujo.jp/>) に掲載されている薬剤から抜粋
(令和5年4月12日時点JPP-NET配信データによる)。

2) 薬剤を作用機構ごとに分類した番号。薬剤耐性菌の発生を未然に防ぐためには、作用機構の異なる剤をローテーション
で使用する必要がある。

3) 有効成分が硫黄の剤は予防散布が中心であるため、既に発生が確認されている場合は他剤を使用する。

【問合せ先】 静岡県病害虫防除所

〒438-0803 磐田市富丘678-1 TEL 0538-36-1543 FAX 0538-33-0780

URL <https://www.agri-exp.pref.shizuoka.jp/boujo/boujo.html>